

## 笹川学生実行委員会企画「東京自由観光報告」

### ★浅草・東京スカイツリーコース（第1グループ）

（文責：中島大地）

中国の学生とともに浅草と、スカイツリーを巡った。まず浅草で天井のお店に入り、その後、浅草寺へむかった。平日にも関わらず、賑わっていた。とくにおみくじ、参拝の段取りなど、日本文化に関して興味を持って頂けたのでよかった。浅草の日本らしさを感じてもらえたのではないかなと思う。

その後、スカイツリーへと向かった。中国側参加者の方たちの疲れが気になったので、電車で向かった。金銭的な関係で皆がタワーにのぼっている間、日本人三人はタワーの下で待機したが、報告会で中国人学生から眺めが非常に良く、想像より高かった、という感想を聞き、嬉しかった。最後にソラマチを少し探索した。日本と中国ではブランドが少し異なる、という話が興味深かった。

言葉の壁もあり、最初は雰囲気も堅かったが、次第に打ち解けたのではないかなと思う。参加者はほぼ全員が初めて日本に来たそうだが、日本語も上手でしっかりと勉学に励んでいるのだとよく分かった。その姿勢を見習いたいと思った。

そして、それから中国側参加者の方たちと連絡を取り続けていきたい。



想像以上に高かった！スカイツリー

## ★浅草・東京スカイツリー」コース（第2グループ）

（文責：小嶋心）

雷門前で集合写真及び渡辺さんの提案でトリック写真を撮ってから、古谷さんオススメの天井屋へと向かった。途中仲見世通りで迷子になってしまう学生がいたが WeChat で連絡を取り合い解決した。私のリサーチ不足で古谷さんに教えて頂いた天井屋は定休日です。次の候補の店も本館は営業しておらず、別館に辿り着き天井が届くまでには2時間程度経ってしまっていた。大黒屋の天井は、中国人の口にはあまり合わず残してしまう学生が多くいた。その後浅草寺でお参り、記念撮影をし、スカイツリーまで歩いて向かった。途中隅田川沿いでスカイツリーを背景に集合写真及びトリック写真を撮って楽しんだり、スカイツリーの周辺施設の紹介を行ったりした。スカイツリー地上350メートル展望デッキと地上340メートルガラス張りの床の上で集合写真を撮影した。華東理工大学の童さんが、係りの方が撮影した記念写真を購入し日本人学生に「今日はありがとうございました」と渡して下さった。その後は夕食会場の飯田橋へと向かい、飯田橋で日本のスーパーを見学しグループ行動を終えた。上智大の李さんが地下鉄の乗り換え口に大変詳しく。とても頼りになった。



残念ながら、おススメの天井屋は定休日！

## ★浅草・東京スカイツリーコース（第3グループ）

（文責：杉本万由）

A3グループでは、昼食（もんじゃ焼き・お好み焼き）→雷門・浅草寺→東京スカイツリーという流れで散策を行った。昼食は、日本人学生が中国人学生にもんじゃ焼き等の作り方を教えながら、楽しく食事することが出来た。雷門・浅草寺では、写真撮影やおみくじなどを楽しんだ。東京スカイツリーでは、展望台から東京の一望を眺めつつ、抹茶アイスを食べた。散策を通して、日本食を楽しみつ

つ、人気の観光スポットを満喫することができた。



下町の味を堪能！

#### ★渋谷・原宿コース

(文責：近藤千朋)

まず私たちは原宿にある KAWAII MONSTER CAFÉ というカフェでお昼ご飯とした。ここは店内がモンスターのお腹の中、というコンセプトで統一されており、ポップで可愛らしく、まさに日本の「かわいい文化」が具現化された世界であった。見た目になじみのない5色のパスタなども、味はおいしく頂いた。その後渋谷に移動し、ハチ公前で写真をみんなで撮ったあとは、薬局に行きたい先生方と、アニメイトや109に行きたい学生とに訪日団を分け、別行動とした。結果として、各々が目的を達成できたようで、晴れ晴れと楽しそうに観光を満喫している顔を見ることができ、こちらも光栄であった。



かわいい文化を体感！

## ★台場コース

(文責：桑原紗綾)

当日の流れは、ジョイポリスの建物内で昼食⇒台場一丁目商店街⇒ジョイポリス⇒水上バスだった。昼食は、お寿司だったが、ランチメニューを食べてもらったため、費用を抑えることができた。また、ジョイポリスのカフェで精算、スケジュール・現状確認をしたことにより、予算に余裕があること、皆さんが疲れ気味であることに気づき、然程歩かずに台場を堪能できる水上バスに変更した。しかし、フルで水上バスを楽しむと、予算が足りない。そのため、お台場海浜公園→日の出桟橋の一駅にした。乗る時間は15分だったが、夕日を見れたこと、そして、何よりも水上バスを体験できたことが良かったとかなり満足してもらえた。



ジョイポリス「台場一丁目商店街」